

第24号

2024年4月発行

あづみず通信

●再生協の主なニュースなどを掲載しています。

発行

安曇野市農業再生協議会事務局
(安曇野市農林部農政課内)TEL 0263-71-2000
FAX 0263-71-2507

販売促進事業

問い合わせ：電話71・2430

首都圏等PRイベント事業

恵まれた気候風土で育った「美味しい安曇野の農産物等」を首都圏のみなさんに知ってもらい、食べて、買ってもらうための市主催のイベントに再生協でも協力しました。

9月には、JR新宿駅で3日間「安曇野市×あずさマルシェ in LUNED AGRI MARCHÉ」が開催されたため、再生協では、出店ブースの周遊を促し、販売促進につなげるため抽選会イベント等の企画運営を行いました。



▲抽選会ブースの様子

また、10月にはJR東京駅地下直結のKITTE丸の内で「信州安曇野暮らしPR展」が開催されたことに合わせ、Tokyo City i CAFE by BROTOで提供するカフェコラボメニューの開発に取り組みました。コラボメニューの「信州サーモンと安曇野産わさびの和風パスタ」と「夏秋いちご&シトラスティー」は、売り切れとなるほど好評で、安曇野の農水産物の美味しさをPRすることができました。



▲カフェコラボPRポスター

4年ぶりに開催「食の感謝祭」で豊穡宝船を奉納

新型コロナウイルスが5類に移行し、さまざまなイベント等が復活する中で、地元の方にも安曇野の農産物の魅力を知ってもらうため、11月に穂高神社で開催された「信州安曇野食の感謝祭」で地元農産物満載の「豊穡宝船」を制作しました。

「豊穡宝船」は来場者から好評で多くの来場者が記念撮影をしていました。



▲豊穡宝船の奉納

集落支援事業

問い合わせ：電話71・2429

農業後継者研修会

再生協では、市内農家の高齢化や後継者不足が進む中、安曇野市の今後の農業を担う若手農家や新規就農者の知識習得等を目的に農業後継者研修会を開催しています。

令和5年度は農業経営の専門家（中小企業診断士）等からの講演を参考に、自らの農業経営を見直す機会にしようための研修会を企画しました。また数年ぶりに農業後継者同士の意見交換会も開催しました。

当日は、市内の新規就農者や親元就農者、認定農業者等約30名が参加。研修会では、よくある農業経営相談事例や対応例を中小企業診断士からご紹介

いただき、商工会・市で取り扱っている補助事業について説明を行いました。また意見交換会では、農業後継者が自身の栽培品目、販路、経営上の課題について意見交換を行いました。

参加者のアンケートでは、9割以上の方から「農業経営に参考となった。（多少を含む）」と回答がありました。交流会の時間が短いなどの意見もあったため、アンケート結果を参考に今後の研修・交流会内容を検討していきます。



▲研修会の様子



▲意見交換会の様子

歩行型草刈機貸出中！

安曇野市では、耕作放棄地対策として歩行型草刈機をJAあづみの穂高地域営農センター、三郷地域営農センター及びJA松本ハイランドの川手センターに各1台配置しています。

このたび、穂高及び三郷の歩行型草刈機が老朽化したため、令和5年12月に新しい機械へ更新しました。

耕作放棄地の解消等にご活用ください。



生産振興事業

問い合わせ：電話 71・2428

玉ねぎ生産振興モデル事業 タマネギ全量基肥体系の基礎調査

安曇野市は古くからタマネギの生産が盛んです。品質がよく安定して収量が確保できる栽培技術の検討を行ない、近年は施肥の省力化を検討するべく試験を実施してきました。

令和5年産では、土壌診断結果に基づき追肥を窒素成分のみとし、回数を3回から2回（3月中旬と下旬）とする実証区を設置しました。（ただし、施肥の総窒素量は同じ）結果、収量性は慣行区に劣らず良好でした。土壌診断でリン酸や加里が多いと診断されたほ場においては追肥を窒素のみとしても問題なく、回数を2回とすることで省力化が可能であることが分かりました。

また、省力化を目的として追肥作業回数を2回とする場合に、施肥する窒素量は慣行区と同じ量が必要になります。追肥のタイミングについては3月中旬と下旬の2回としても慣行と変わらない収量が確保できることから、追肥回数は3回から2回に削減が可能と考えられます。今後はこの施肥の省力化や効率的な施肥体系について広く周知を図っていきます。



▲規格別収穫量（実証区）



▲規格別収穫量（慣行区）

安曇野牛ブランド化推進事業 牛枝肉共励会を実施しました

安曇野市では、市内の肥育牛生産者の技術研鑽と産地での共販体制強化・牛肉流通体系の充実を図り、「信州安曇野牛」の品質向上に資することを目的として、牛枝肉共

励会を毎年実施しています。本年度は、11月17日に大阪市食肉市場において共励会が実施され、11月29日に安曇野市役所において表彰式を実施しました。

共励会では、市内の生産者が育てた14頭の枝肉が出品され、日本食肉格付協会が定める審査基準に基づき、2人の審査員が枝肉のサシ・色合い・キメの細かさ等を厳正に審査しました。

審査の結果、ロース芯が大きく、BMS（牛脂肪交雑基準）の高さと枝肉の構成比や品質を評価された太田和男氏（穂高有明）が最優秀賞を受賞しました。

今後は、子牛価格の高止まりや飼料価格の高騰により、依然として肥育農家の経営は非常に困難な状況が続いていますが、共励会を通じて品質の向上及びブランド力の強化のほか、ニーズに合わせた枝肉の生産に努め、価格の向上を目指していきます。

褒章		出品者	種別（性）	格付け
最優秀賞	太田和男	黒毛和種雌	A5	
優秀賞	松枝 功	交雑種去勢	B4	
優良賞	（株）降旗物産	黒毛和種去勢	A5	

農家の皆さんへのお願い

農業等で農地から道路へ出る際には、交通安全と環境美化のため、次のことに注意ください。

- ① 農作業用車両は馬入れに駐車しましょう
- ② トラクターなどで農地から公道に出る前には、必ずタイヤに付着した土や泥を落としましょう
- ③ 道路を汚してしました場合、速やかに撤去清掃を行いましょ
- ④ 盗難防止のため、作業中は近くにも力金をかけましょ



お知らせ

労働力支援情報

農作業のマッチングアプリ「デイワーク」を活用してみませんか！

「デイワーク」アプリは、農家と求職者を1日単位で結びサービスで、利用者は農業に興味のある若い方が多く、現在利用料は無料です。

利用農家からは、「求人登録したらすぐ申し込みがあった。交通費は一律で支給したが、松本地域外からも申し込みがあり驚いた。短期で急な求人に対応でき、給与もその場で現金払いのため、特に面倒も無く利用しやすかった。」という声も聞かれています。

JAあづみでは、今年も農作業のマッチングを行う予定ですが、アプリの活用は簡単なので、りんごの摘果作業等の一時的な労働力不足を補う目的であれば一度利用してみたいかがでしょうか。



合同面接会のお知らせ

求人農家に直接内容を聞ける面接会（要予約）を開催します。興味のある方は、ご参加下さい。

日時 令和6年4月21日（日） 13時30分～

場所 堀金公民館 講堂

申込み・お問合せ先

JAあづみ農業企画課（TEL 72-2933）

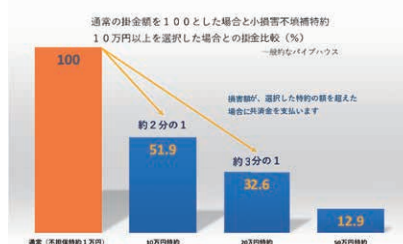
園芸施設共済

災害のリスクに備えましょう！

自然災害はいつ起こるかわかりません。まずはご自身で事前に被害を想定し、状況に合わせたリスクに備えましょう。

園芸施設共済は、自然災害等による被災後の復旧やそ

の後の事業継続に備えるための国の公的保険制度で、掛金の半分を国が負担しています。補償内容は、選択する特約により異なりますが、古いハウスでも新築時の価値まで補償できます。また、小損害不填補特約の選択により、選択した額が大きくなるほど掛金はぐっと安くなります。(下図)



収入保険 リスクへの備えはできていますか？

収入保険とは、農業者自らが生産・販売した農業収入全体を補償する保険です。経営努力では避けられないすべてのリスクに対応し、幅広く補償することができます。



※上記の事故要因はほんの一部です。

もしもに備える収入保険 補てんの仕組み

保険期間の収入が基準収入の9割(補償限度額の上限)を下回った場合に、下回った額の9割(支払率)を上限として補てんします。

●保険料、積立金の国庫、行政補助

掛捨て部分保険料50%・積立金75%は国庫補助があります。被害がなければ、原則翌年の積立金の支払は必要ありません。

りません。

また、安曇野市より掛捨て部分保険料の1/3相当分の補助があります。(限度額5万円)

●無利子のつなぎ融資

補填金の支払いは保険期間終了後になりますが、保険期間中であっても、補填金の受取が見込まれる場合、無利子のつなぎ融資を受けることができます。

○令和6年度から、次の4点が新設又は変更されます。

◆青色申告の実績が1年以上で加入可能。

◆加入者の積立金の負担軽減を求めるニーズに応じ、保険方式のみで9割を補償限度とするタイプを新設。

◆基準収入算定の際に甚大な気象災害による影響を緩和する特例の新設。

◆収入保険と野菜価格安定制度との同時利用については、令和7年(来年)以降の新規加入者には適用となりません。

加入申請受付中

●加入対象者

青色申告の実績が1年以上ある方がご加入いただけます。例えば令和6年(今年)から青色申告を始めた方は令和7年(来年)からご加入いただけます。

●加入申請期限

個人経営体は、毎年12月末まで。法人経営体は、事業年度開始の1カ月前までの申請をお願い致します。NOSAI長野では、収入保険に関するお問い合わせ窓口を設置しています。

園芸施設共済・収入保険に関する問い合わせ先

NOSAI長野 安曇野支所 収入保険係
(TEL) 72-5192

各直売所等イベント

出荷組合員募集。詳しくは各施設へ。

直売所名	電話番号	開催日	内容
JA松本ハイランド ファーマーズガーデンあかしな	62-1230	5月12日(日) 6月16日(日)	母の日カーネーション祭り…松本ハイランド産カーネーションプレゼント 父の日フェア…ひまわりプレゼント
JAあづみ 安曇野スイス村ハイジの里	87-0812	4月27日(土)～ 5月 6日(月)	GW企画 … 苗市、生そば、生わさび、 生産者こだわりリングジュース特集
JAあづみ 穂高農産物直売所	82-3116	5月 8日(水)～	苗販売会 … 野菜苗(一般苗・接ぎ木苗)を販売します
ほりがね物産センター	73-7002	5月 4日(土) 6月 1日(土)	毎月第一土曜日は物産デー 500円以上お買い上げの方にプレゼントをご用意しております。 (先着500名様) 地元産の野菜取り揃えています。 食堂の新メニュー『ほりがね御膳』をお楽しみ下さい。
Vif 穂高	81-5656	5月18日(土)・19日(日) 6月15日(土)	Vif 穂高新緑まつり…加工品、食堂企画 Vif 穂高感謝デー … セタ飾り、加工品特価、食堂企画
とよしな旬彩市	73-0902	4月28日(日) 5月 8日(水)～5月15日(水) 5月26日(日)	青葉祭…コシヒカリ1割引き・地元野菜販売・野菜苗販売 野菜・花苗祭…各種野菜と花の苗を取り揃えて販売 さつき祭…コシヒカリ1割引き・地元野菜販売・野菜、花苗販売

「各種補助事業のご案内」

新規就農者や、認定農業者、集落営農組織等には各種補助制度があります。令和6年度に予定されている主な補助事業は次のとおりです。詳細については、ご相談下さい。

なお、いずれも事前申請が必要で、予算の範囲内での交付になります。

【新たに就農する】

内容区分	補助事業名	事業内容	補助概要
新規就農	住居費補助事業 (新規就農者支援事業)	賃貸住宅居住者で市内就農後5年以内または3年以内に市内へ就農する研修者へ住居費を支援	1万円/月 最長3年間
	新規就農者育成総合対策 (経営開始資金)	独立・自営就農者への給付金による営農支援	150万円/年 最長3年間 (所得制限あり)
	新規就農者育成総合対策 (経営発展支援事業)	独立・自営就農者の独立時の設備投資を支援	補助率 3/4以内 限度額 750万円 ※経営開始資金を受給する場合、限度額 375万円
新規就農 (研修)	就農希望者研修費助成 (新規就農者支援事業)	新たに市内で就農を考えている方に研修費を助成	受講費用相当額 (県農業大学校が実施する指定講座)
	先進的経営体等における研修費助成 (長野県担い手育成基金)	新規就農里親研修生で1年以内に県内に就農が見込める者を支援	4万円/月 1年間
	新規就農者総合育成対策 (経営準備資金)	独立・自営就農前の研修者への給付金による生活支援	150万円/年 最長2年間
親元就農	親元就農促進事業(親元就農支援金)	認定農業者の子・孫、その配偶者への給付金による営農支援	20万円/年 最長5年間
経営継承	経営継承・発展等支援事業	中心経営体等から経営の主権の譲渡を受けた者の経営発展に必要な経費を補助	上限 100万円

【農地を管理する】

内容区分	補助事業名	事業内容	補助概要
農地集積	機構集積協力金	農地バンクを活用して、担い手への農地集積・集約化に取り組む地域に対して地域集積協力金を交付 また、農地バンクから転賃等を受けて、農地の集約化に取り組む地域に対して集約化奨励金を交付	①地域集積協力金 1万～3万4,000円/10a ②集約化奨励金 1万～3万1,000円/10a ※農作業受委託の場合は交付単価は1/2
荒廃農地	荒廃農地解消事業	荒廃農地を解消するための費用を支援	荒廃農地を解消する農業者等へ交付 5万円/10a
鳥獣害	①侵入防止柵設置事業 ②侵入防止装置設置事業	農作物を鳥獣害から守るため防護柵の設置や機器の購入費助成	①侵入防止柵(電気柵、金網柵及びネット柵) 1/2以内 限度額 50万円 ②侵入防止装置(電子防鳥機、音波鳥獣駆逐装置) 1/3以内
	モンキードッグ維持管理事業	農作物被害防止のため、集落で実施するモンキードッグによる二ホンザルの追い払い事業を支援	モンキードッグ維持管理費 1頭 3,000円/月
	新規銃砲所持許可者支援事業 新規狩猟者確保支援事業	新たに、わな猟免許又は銃猟免許及び銃砲所持許可の取得にかかる費用を支援	取得に要する医師診断料、保険料、射撃講習費相当額 ただし、安曇野市猟友会に加入し、有害鳥獣捕獲に従事予定であること
	エアガン購入助成事業	農作物被害対策や追い払いに使用するエアガンの購入費を補助	補助率 1/3以内 ただし、集落等で(5戸以上)一体的に鳥獣対策を実施する場合は、1/2以内
	追い払い道具の貸出、配付	追い払いに使用するエアガンの貸出や、ロケット花火等の配付	エアガン貸出(1か月程度) ロケット花火、爆竹の配付(必要数)

【機械等を整備する】

内容区分	補助事業名	事業内容	補助概要
機械整備	集落営農組織機械等整備支援事業	集落営農組織が規模拡大、加工販売等に必要な機械・設備の導入費を助成	補助率 3/10以内 限度額 300万円
	集落営農活性化プロジェクト促進事業	集落営農組織が作成した集落ビジョンの達成に必要な機械・設備等の導入費を助成	補助率 1/2以内 限度額 1,000万円
	親元就農促進事業 (親元就農機械等整備事業)	認定農業者の子・孫が、規模拡大、加工販売等に必要な機械・設備の導入費を助成	補助率 3/10以内 限度額 100万円
	農林業振興等助成事業 (農業用施設取得補助金)	大規模な農業用施設を取得した農業者に対し、固定資産税相当額を助成	評価額1,000万円以上の固定資産税相当額 3年間の限度額3,000万円
	農地利用効率化等支援交付金	生産性の向上や農作業の効率化等を図り経営改善の取組に必要な農業用機械・施設の導入費を助成	地域計画のうち目標地図に位置付けられた者 補助率 3/10以内 上限300万円

【作付を支援する】

内容区分	補助事業名	事業内容	補助概要
玉ねぎ振興	玉ねぎ機械化体系支援事業	玉ねぎの機械化体系による生産拡大のために、機械植え用玉ねぎ苗及び機械の購入費を助成	補助率 1/3以内
果樹振興	果樹新植支援事業	果樹を新たに植付し生産拡大を図るために、果樹棚、苗木の購入費及び、未収益期間の管理経費を助成	果樹棚設置、苗木購入費 補助率 1/3以内 未収益期間支援補助 5万円/10a:4年間 限度額 100万円
	果樹生産農家支援事業	りんご新わい化用M9台木購入費の助成	補助率 1/3以内 上限 200円/本
環境にやさしい農業振興	環境保全型農業直接支払交付金事業	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者等への支援	1万4,000円/10a 上限

【販路拡大を支援する】

内容区分	補助事業名	事業内容	補助概要
販売促進	通販サイト出店補助事業	農家等が自ら栽培した農産物及び加工品を販売するため通販サイトを利用した際の販売手数料を助成	補助率 3/10以内 限度額 15万円
	マルシェ出店補助事業	食品加工事業者及び農業者等が県外のマルシェで農産物及び加工品を販売する経費に対する助成	定額1回1万円 限度額 2万円
	海外物産展等出店補助事業	海外で開催される物産展等に出品し、農産物等を販売もしくはプロモーションする経費に対する助成	補助率 3/10以内 限度額 10万円